

仏革命記念日の軍事パレードに招待 自衛隊員がリハーサル

今月 14 日に行われるフランス革命記念日の軍事パレードに日本が招待されたことを受けて、パレードで行進する7人の自衛隊員が現地でリハーサルを行いました。

フランスでは毎年革命記念日の7月 14 日にパリ中心部のシャンゼリゼ通りで軍事パレードが行われていて、ことしは日仏友好 160 周年を記念して日本が招待され自衛隊が参加することになりました。

パレードを前に 11 日の早朝、シャンゼリゼ通りを封鎖してリハーサルが行われ、7人の陸上自衛隊の隊員も参加しました。隊員たちは緑色から紫紺色になった新しい陸上自衛隊の制服に身を包み国旗や部隊の旗を掲げておよそ 600 メートルを行進しました。自衛隊は同じく招待されたシンガポール軍と、フランス軍とともにパレードの先頭を歩く予定で、音楽に合わせてそろって歩くタイミングなどを確認していました。

リハーサルに参加した陸上自衛隊第 32 普通科連隊の横山裕之連隊長は、「西日本での大きな災害で多くの被災者や自衛隊の隊員ががんばっているのでエールを送る気持ちで参加しています。日本や自衛隊を代表して誇りを持って堂々と行進したい」と話していました。

.....
7月14日はフランス国の革命記念パレードです。ブラジルでは独立記念日が9月7日にサンパウロ州の場合はイピランガ独立の記念碑のもとで行われます。軍人さんたちの日ごろの訓練を見せる場であり、国を護っている大きな誇りを示す場でもあります。昨年はサンパウロ在西南方軍団のトップが日系2世の池田隆蔵少将閣下(今年中將に昇進され国都ブラジリアに栄転されました。)でした。日系の将官がトップだということでお祝いに行き、ご挨拶してきました。ブラジルは平和な国で、争いのない国ですが、中南米17カ国全部の軍隊よりブラジル軍は大きく強い、それだけの軍備を備えているとのことでした。

そんな視点で、日本の自衛隊を見ると、まったく気の毒です。言葉ありません。がそれは憲法上、又法政的な問題であって、実力的には世界で軽く5本の指に入る程の力があり、兵士の連度や装備については、優秀であるとyoutubeで見聞きしています。ましてや日本の軍隊の凄さは、戦前より連綿と引き継がれ、国を護るという点については、硫黄島やペリリー島の英霊にも負けぬ魂を持っておられると聞きます。

一人っ子政策の中で育った兵士や皆兵制の中で給金のために働く兵隊が、まともに命を賭けて、戦えるものでしょうか。今の戦争は智力が高く緻密で粘りがあって、チームワークで働ける集団が強いはずです。今の時代、肉弾戦などはなく一瞬で勝負が決まる近代戦は近代的な武器と兵士の和が戦の要となるでしょう。

日本国民の眠りを揺り動かし、改憲を進め、他国並みに戦える地盤を作り直すことこそ大切であると思います。

徳力啓三